



平成 29 年 11 月 29 日

## 福生市 定例記者会見資料

資料 3-6

車椅子から見える世界とは。目線の違いを知って、障害について考えるための映像

### 「115cm-車椅子の目線から-360° VR」を公開

福生市では、12 月から始まる「障害者週間」に合わせ、障害を持つ方に対する意識・関心の醸成を目的とした VR 映像『115cm-車椅子の目線から-360° VR』を 12 月 1 日より、公式 YouTube チャンネル「福生市メディアラボ」で公開します。

360 度カメラを用い、車椅子利用者の目線を再現したのが本映像の特徴です。また、市販の VR ゴーグルを利用することで、より没入感のある車椅子利用者の目線の追体験も可能となっています。

#### ■目線の違いを知ることで、障害に対する関心を

12 月 3 日から 9 日までは、内閣府の定める「障害者週間」として、障害者の福祉に関する様々な活動が行われます。福生市では独自の取り組みとして、本映像を制作しました。

本映像の特徴は、360 度カメラを使った VR 映像として、車椅子利用者の目線を追体験できることにあります。また、市販の VR ゴーグルとスマートフォンを使うことで、さらに没入感のある映像視聴も可能となっています。

視線の低さ、乗り越えられない場所など、車椅子利用者が普段見ている世界は、健常者の見ているものとはまた違います。そうした違いを、映像を通じて感じてもらうことで、障害に対して、少しでも意識・関心を持ってもらうことが、映像制作の目的です。

#### ■車椅子利用者の監修・協力により、日ごろ感じる不便さを映像に

制作にあたっては、福生市社会福祉協議会の職員で、自身も車椅子の利用者である高崎賢啓（よしひろ）氏の監修・協力のもと行いました。

高崎氏は、同協議会職員のほか、「バリアフリー2001」という団体を主宰し、福生市内のバリアフリーマップ（「バリアフリーなおでかけマップ in ふっさ」）の制作など、普及啓発活動に取り組んでいます。

同氏のアドバイスを基に、どういう場面・場所が車椅子利用者によってのリスク・バリアになるのかを検証し、映像に収めていきました。

撮影の舞台となった福生市役所は、バリアフリー対応の建物ですが、ハード面以外にも、人や物など、様々なものが、車椅子利用者にとって妨げとなる場合があります。そうしたことが伝わるよう映像を構成していきました。



平成 29 年 11 月 29 日

# 福生市 定例記者会見資料

資料 3-6

## ■VR 映像本編と対になる、「解説編」も同時公開

本編に登場した、さまざまなリスク・バリアのシーンを、高崎氏が解説する『115cm-車椅子の目線から-〈解説編〉』も、同時公開します。

こちらの映像では、本編に出てきたシーンを辿りながら、それぞれの場面の何が問題なのか、何が困るのか、を高崎氏に解説してもらう内容となっています。障害のある人も、そうでない人も、ともに気持ちよく暮らしていくために、どんなことを心がけていくべきなのか、というポイントを映像で伝えています。



『115cm-車椅子の目線から-360° VR』のキャプチャ画像



『115cm-車椅子の目線から-〈解説編〉』のキャプチャ画像

### 〈動画に関する補足情報〉

#### ① 【タイトル】『115cm-車椅子の目線から-360° VR』

【映像時間】4分44秒

【配信】福生市ホームページ、YouTube チャンネル「福生市メディアラボ」  
(<https://www.youtube.com/user/FussaCityHall/featured>)

【内容】360度カメラによる、車椅子利用者の目線の再現映像

※スマートフォンやタブレットで視聴するには、Android または iOS 用 YouTube アプリの最新バージョンが必要となります。視聴中に画面をドラッグするか、ジャイロセンサー搭載端末は、端末の傾きに応じて視点が動きます。

※VR ゴーグルを利用する場合、画面右下の「メガネアイコン」をタップしてセットすることで、より没入感のある映像が視聴できます。

#### ② 【タイトル】『115cm-車椅子の目線から-〈解説編〉』

【映像時間】6分28秒

【配信】福生市ホームページ、YouTube チャンネル「福生市メディアラボ」

【内容】本編映像の解説動画

【制作経費】ともに0円(自主制作)

【問合せ】福生市役所 秘書広報課広報広聴係 ☎042-551-1529